

わくわくワーク大石について

わくわくワーク大石では就労移行支援事業・就労継続支援 B 型事業・就労定着支援事業を行っています。

就労移行支援事業所とは？

障害を持っており、18歳～64歳の方を対象に一般企業へ就職するために就労訓練を通して必要なスキルを身につける場所。

利用期間は2年間。

就労継続支援 B 型事業とは？

障害を持っており、年齢や体力的に一般企業への就労が困難な方が利用可能。就労訓練を通して就労に必要なスキルを身につける場所。

利用期間制限なし。65歳以上も利用可能。

就労定着支援事業とは？

移行や B 型を利用し、就職した方の就職後のサポートをする場所。

利用期間は3年。

【わくわくワーク大石での基本的な就労訓練のパターン】

- ① 出勤 5日/週 (週3～でも可)
- ② 訓練時間 8:30～16:00
- ② 訓練場所 15か所前後 (自社株式会社×1)
→公園・駅・駐車場・団地・院内等の清掃、調理、介護、検査センター等
- ④ 資格取得の援助 介護職員初任者研修、介護福祉士など
- ⑤ 自社雇用 (1カ所)
- ⑥ 夜間 2日/ W

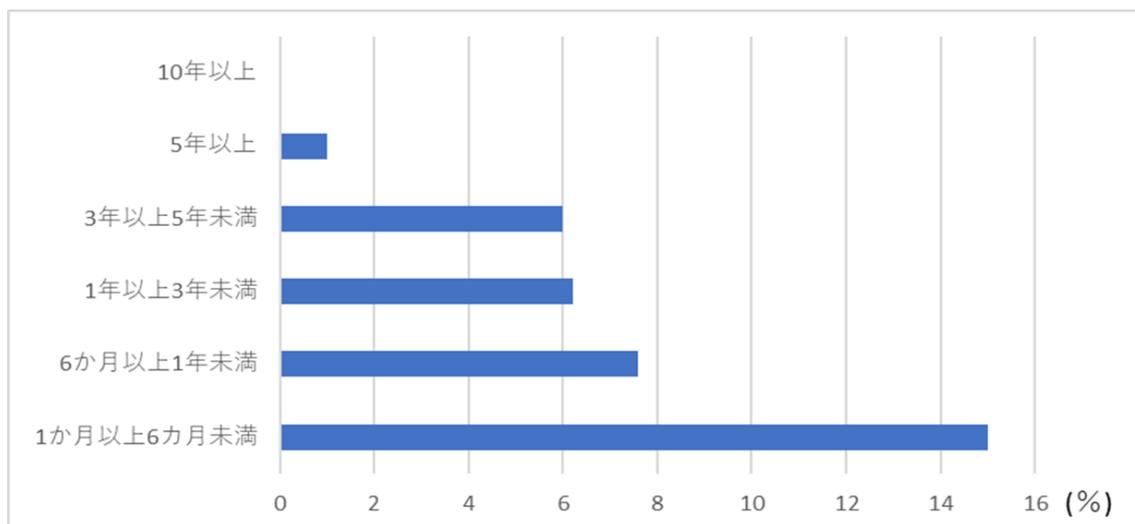


ここで大阪が出している統計をもとにわくわくワークの実態と比較してみましょう。

【例 大阪の取り組み】

大阪市の就労支援によって就職した人のうち保護の廃止となった割合
 ※依存症や精神疾患に関わらず、生活保護受給者全体※

図 1



図を見てわかるように、6か月以上生活保護を受け続けると生活保護を廃止（自立）することがどんどん困難になっていくことがわかります。

続いて、平成 22 年の大阪の就労支援策の結果を見てください。

大阪の就労支援策の結果（平成 22 年）

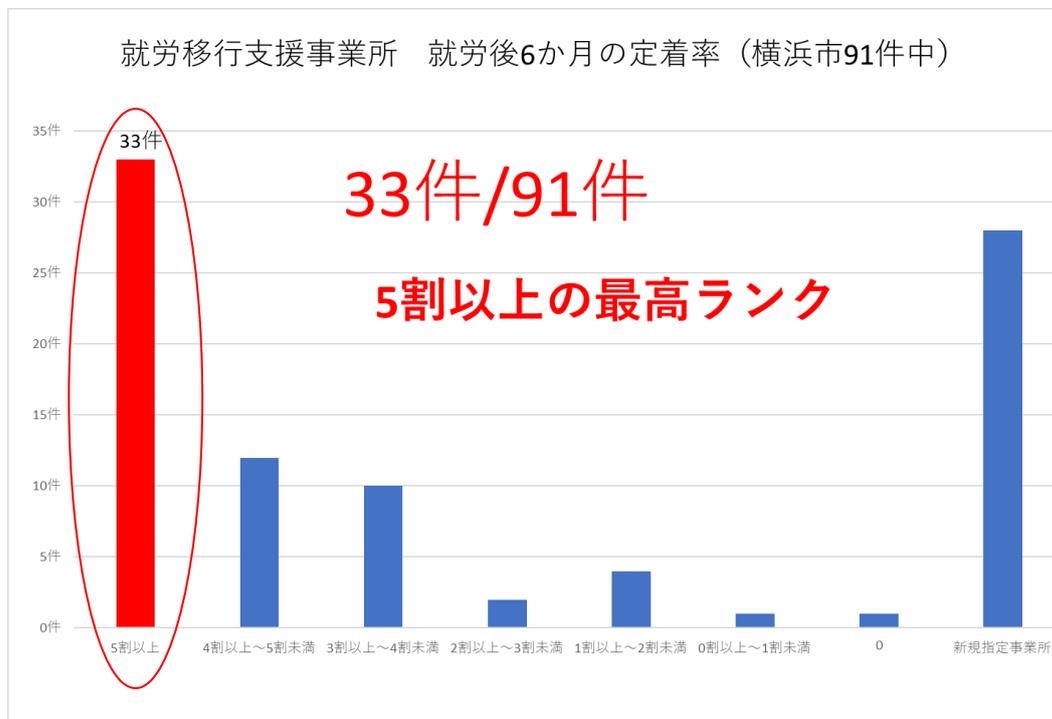
図 2

| | 支援者数 | 保護廃止 | 対象 |
|-------------------|-------|------------|--------------------|
| (1)就労支援事業 | 5235人 | 126人(2.4%) | 意欲# 正社員の経験 生活リズム |
| (2)就労サポート事業 | 77人 | 5人(6.5%) | 意欲+ (一) ? |
| (3)キャリアカウンセラー派遣事業 | 1268人 | 14人(1.1%) | |
| (4)自立意欲喚起事業 | 129人 | 0人(0%) | アルコール依存症と主体とする精神障害 |

この表を見ると、就労に対して意欲が低いと生活保護廃止（自立）することは難しく、中でもアルコール依存症や精神障害の人は生活保護廃止率が 0% という結果になっています。

【わくわくワーク大石の実績】

図 3



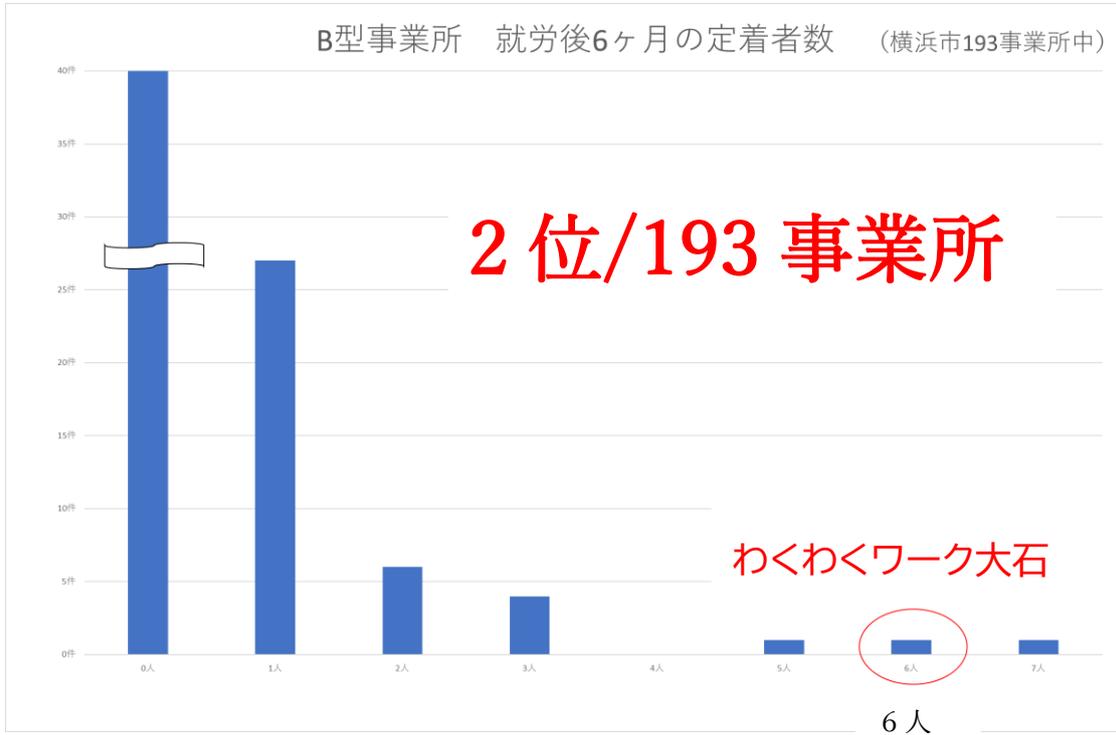
横浜市に 91 ある就労移行支援事業所のうち、わくわくワーク大石は就労定着率が 50%以上であり、厚生省指定の 7 ランク中の最高位に属しています。

図 4

| 年度 | わくわくワーク大石の就労定着数(就労移行) | |
|--------|-----------------------|-----|
| 令和元年 | 7 人 | 47% |
| 令和 2 年 | 12 人 | 84% |
| 令和 3 年 | 8 人 | 57% |
| 令和 4 年 | 8 人 | 58% |

令和元年はコロナウイルスの影響で就職活動も難しく、惜しくも 50%を切ってしまいましたが、翌年からは 50%を超えており、横浜市の中ではトップクラスの就労定着数と言えます。

図5



B型も就労者を6名だしており、横浜市で193事業所がある中でも2番目に多くの方を就労につなげています。

例えば、1つの事業所に25名利用者がいるとして、このグラフの就職者69名を割ると・・・
 $25 \text{名} \times 193 \text{社} = 4825 \text{人}$ $4825 \text{分の} 69 \text{人} = 0.014 \rightarrow 1\%$

B型事業所を利用している方で就労後半年定着できる割合は約1%と言えます。

図6 就労移行の就労定着率（就職してから6ヶ月継続）の推移（大石クリニック）

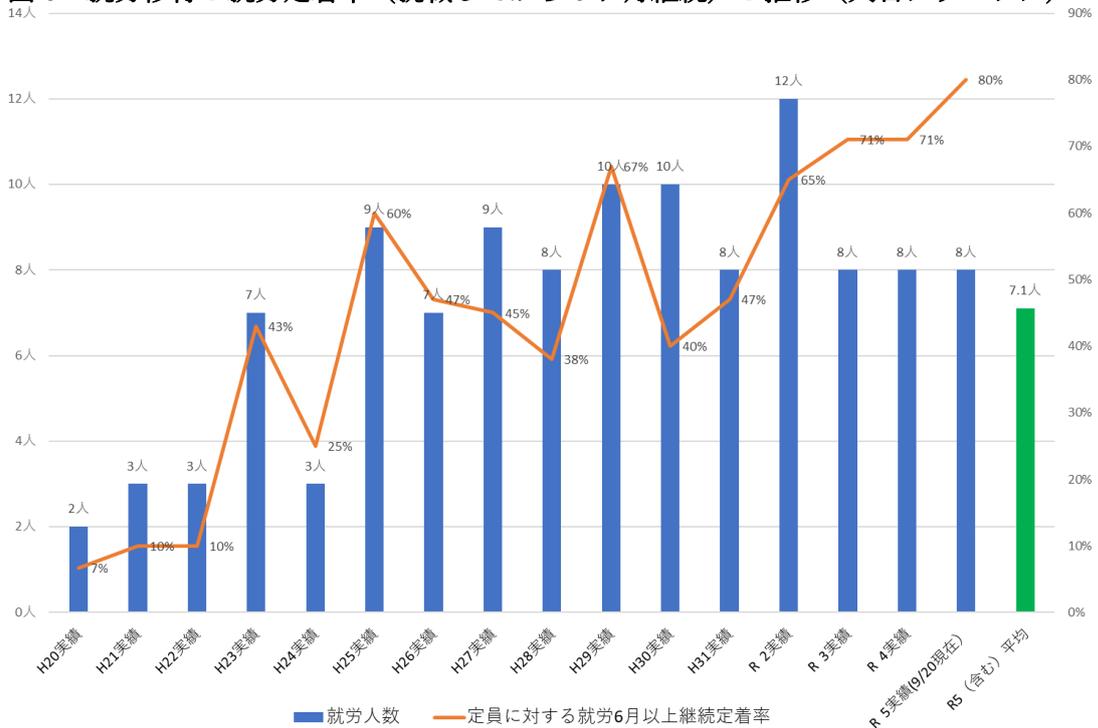


図 7

就労継続B型就労定着率(就労してから6ヶ月継続)の推移

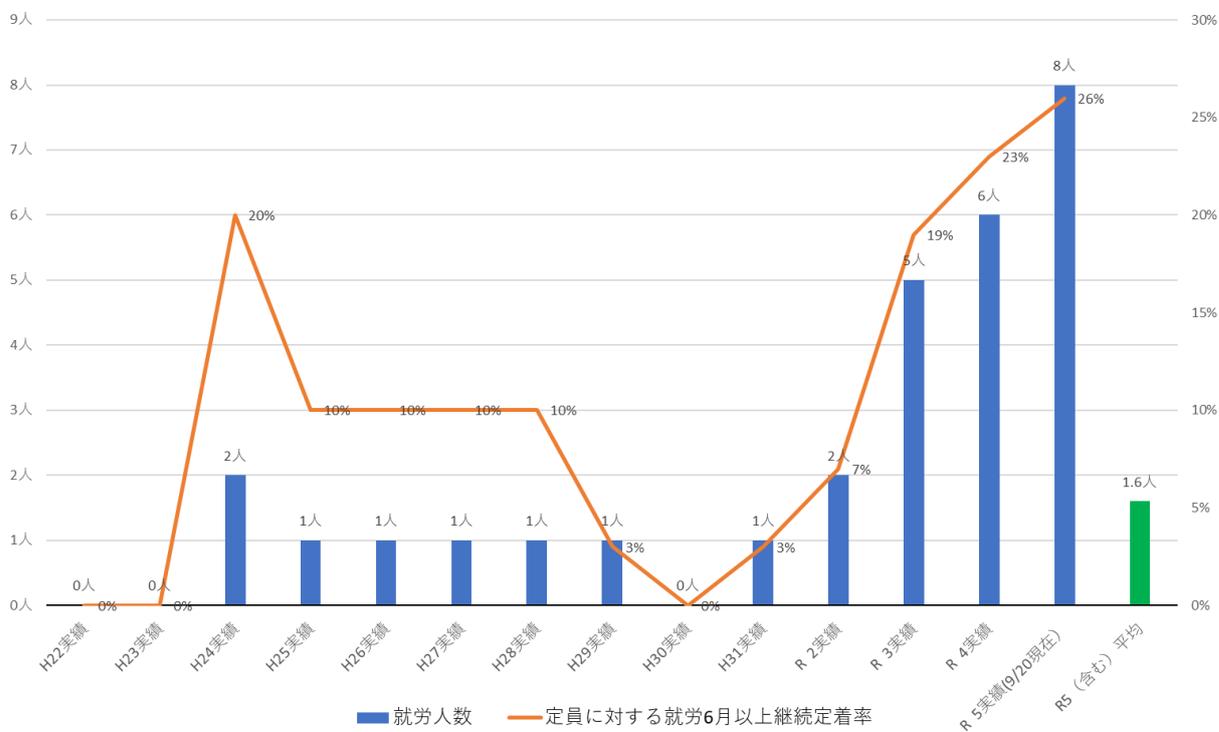


図 6 と 7 はどちらもわくわくワーク大石の実績のグラフになります。

わくわくワーク大石設立直後は現在のような結果ではなく、利用者の方を就職につなげることはとても大変なことでした。

その後大石クリニックとも連携し、試行錯誤をした結果徐々に就労人数・就労定着率が増加していきました。

大阪の結果をみてわかるように、依存症やその他の精神障害の方が就職し、生活保護から抜け出すことは簡単なことではなく、とても難しいことと言えます。

しかし、わくわくワーク大石の利用者の約 8 割は生活保護受給者でほとんどの方が生活保護を受給されてから 1 年以上経っている方が多いです。

最初のほうでもお伝えしたようにわくわくワーク大石では就労移行でも就労継続支援 B 型でも横浜市内で就労定着数が例年トップクラスを誇っています。

同じ敷地内に大石クリニックが併設されており、常に医療と連携をしながら利用者ひとり一人のサポートが行えているのもその理由と言えるでしょう。

ご家族や身近な方で依存症の問題で就労ができず困っているケースがありましたらお気軽に相談してください。

ホームページはこちら

<https://wakuwaku-ohishi.co.jp/>

メールでのお問い合わせも承っております。

わくわくワーク大石